

もやい 令和3年度 第7回定例会議事録

日 時 : 8月20(木) 13:00~14:30

場 所 : 市民活動支援センター

出席者 : 田中、大福、廣川、石見、添田、久保田、(欠 平井、植村)
伊藤アドバイザー(特別参加)

【1】通所サービスC+訪問サービスDの事業(以後、市協定事業と言う)

(1)開始時期:8月19日(水)より実験的に開始

- ・事業コーディネート:磯間(ケアセンター八王子)
- ・利用者:2人(市・森山、もやい・大福)臼井課長代理も参加
- ・運転者:添田
- ・施設:山王病院

◎今回の確認走行での課題を来週にでも打合せる

次には実際の利用者でも実験をする

<課題>

◎利用者側

- ①利用者に送迎用車両が分からないので、何らかの方法を考える
- ②運転者(名前)も事前に知りたい

◎送迎担当側

- ①利用者の基本情報を詳しく知りたい
- ②送迎する前に、自宅及び周辺の状況を確認したい(出来れば本人と面会したい)

◎送迎の基本(重要)

単に運転手としてサービスを行うのではなく、ボランティア活動が目的であり、運転手としては避けて貰う。(市担当者及び施設関係者)

継続的な活動には事業の目的(安心・安全を確保したプロとしての送迎)を理解し、活動への生きがいを見いだすこと、および有償ボランティアであることが望ましい。

(市の見解:この活動はあくまで各団体の自主的な活動なので強くはお願いするつもりはない)

◎定例会での議事

- ・利用者の乗降前後のサポートをどこまで行うのかが定かでない。
- ・移動・送迎支援活動は「切れ目のないサービス」が必要(利用者本位の支援体制)
- ・傘さして、つえを使ってさらに荷物を持っている人は乗降も出来ず、支援の在り方を考える
- ・退院してリハビリを受ける人は、劇的に改善することも見込まれる
- ・利用者は一人ひとり状態が異なり、変化もあることを踏まえ、運転者も交えた意識合わせが必要。
- ・もう少し事例を増やして、今後の対応を考える
- ・今回のモデル事業はケアセンターでのプロでのサービスを行い、本格実施に向けて、改めて市と協議する。
- ・B登録団体でのサービスは次のステップで考える(求められるサービス水準に対し、訪問Bの団体にも一緒に送迎をしてもらえるかどうかは検証が必要)
- ・有償ボランティアとして継続できるしくみづくりを検討していきたいが、現段階では福祉有償運送の登録のハードルが高く、訪問Bの団体が登録申請するのは現実的ではない。

(2) 2020年度のデータ入力(今回は時間がなく討議できなかった)

- ・4月～7月分のデータを管理システムにデータ入力作業(ケアセンター八王子)を行う

【2】勉強会での活動活性化について(今回は時間がなく討議できなかった)

①第2回勉強会:伊藤先生と福祉有償運送団体での情報交換会

- 日時:年末～来春
- 講師:伊藤先生、八王子市・福祉部高齢者いきいき課・担当者
- 場所:未定
- 参加者:福祉有償運送団体
- 活動中のB登録団体
- 狙い:長期的に見た福祉有償団体の活性化について
- 福祉有償運送が通所Cの送迎を実施できる力を持っているかどうか分からないと勉強会での提案が難しい。福祉有償運送を拡充する流れがないのに勉強会を開催しても、参加者は少ないだろう。市の高齢者いきいき課の感触も確認して、開催を検討する(9月下旬に開催を計画していたが延期) <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/welfare/004/004/001/p003859.html>

②第1回勉強会:第2層生活支援コーディネーターへの働きかけ

- 日時:10月14日(水)13:30～15:00
- 講師:服部先生、伊藤先生、辻野主査、
- 場所:労政会館
- 参加者:第2層生活支援コーディネーター、CSW及びB登録団体、
- 狙い:移動・送迎支援活動の活性化

◎詳細は伊藤アドバイザーが服部先生、八王子市・辻野主査と細部を詰める。もやいがパンフレットを作成する。社協の後援名義をとり、弾みをつける(できれば今月中にまとめる)

前半は先生方が話し、後半はワークショップで議論を進める

ワークショップではもやいのスタッフがファシリテーターを担当する

<開催趣旨と狙い>

・住民主体の取り組みは、地区住民が決めるべきではあるが、自主的な判断にゆだねるだけでは地域課題が解決できる時代ではないのではないかと。SCの役割や市の支援策を確認したい。

・鼎談 or パネルディスカッションでは、

①生活支援や介護予防を住民主体の判断にゆだねるだけでなく積極的にSC含む市町村が協働していくことの大切さを共有する。

②(拡充方向にある)総合事業の上手な活用方法と効果を知る。

③八王子市の訪問B+訪問D、通所C+訪問Dのイメージを共有する。

④移動・外出支援に関する課題別の解決方法を先行事例から知る(八王子市にも取り組みを提案)

・ワークショップは、

①個別相談をしたけれど進んでいない団体関係者とその地区のCSWや第2層SCには、ペアで参加していただけるようお声がけをする。

②困っていることがあって個別相談に乗ったり、勉強会をしても各地区の動きが促進されてこなかったことを踏まえ、地区ごとに検討する時間を長めに取る。

③あの地区はニーズが少ない、運転者がいない、役員さんが消極的、連動する事業がないのでモチベーションがない等、もやいの中でも地区ごとに色々な診立てがある。共有認識を持てるようにしたい。結論を出すのではなく、参加者が不安や疑問を解消することを大切にする。

【3】2020年度広報について(資料参照) (今回は時間がなく討議できなかった)

(1) 2020年度ホームページ掲載予定

- ①TMF の活動紹介
- ②「もやい」会員募集
- ③「もやい」活動紹介

(2) 広報誌の発行

- ・8月中創刊号発行(A4判)(理事業挨拶、2020年度事業計画など)

(3) 「はちコミねっと」への情報掲載について(石見さん)

- ・<http://hachikomi.genki365.net/>

- ①・8月13日もやい活動が「タウンニュースで紹介されました！」
- ②「もやい」定例会の紹介
- ◎ホーム：新着情報・活動レポート

【4】その他

①SOMPO 福祉財団(今回は時間がなく討議できなかった)

- ・募集要項(申込期間 9/1～10/9)
- ・NPO基盤強化資金助成) 人件費、備品費 最高70万円
- ・パソコンの購入

②「もやい」シンボルマークの作成(案)

- ・デザイナー 柴 慶忠氏 より提案(下図)
- ◎基本的には移動・送迎支援活動のマークとして承認された
 - ・できれば支援者は男性で60～70歳代とし、要支援者は女性で70～80歳代が望ましい

③TMF への進捗状況の報告(8月末)について

- ・本日の議論を参考に伊藤氏より長野先生へ8月末に報告することとした。

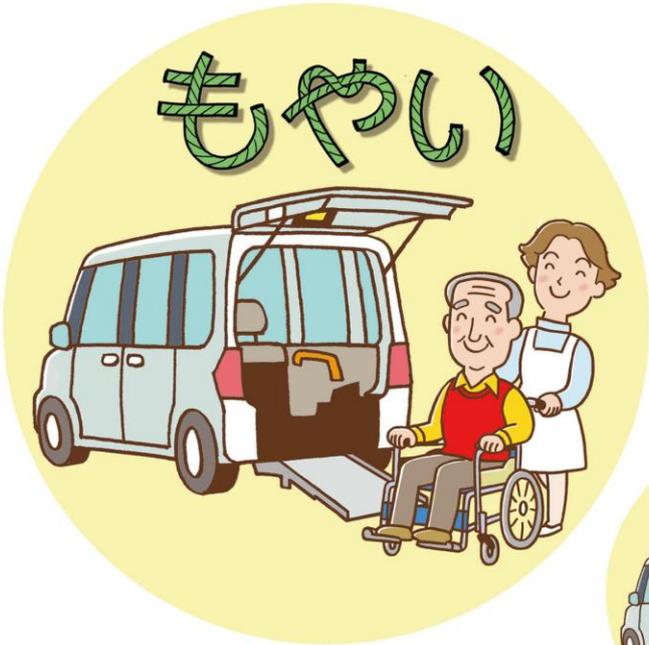
◎コロナ過の影響で会議室の利用に制限があり、利用時間が短縮されて審議時間が少なかった

<次回定例会>

日時：2020年9月3(木) 13:00～15:00

場所：八王子市市民活動支援センター

もやいロゴマーク
トヨタバージョン



<ZOOM 参加の伊藤さんからのコメント>

福祉有償運送の勉強会のことが、10/14 の勉強会の位置に記載されていたようでしたので、移動しました。2つの勉強会の追記部分は立ち話の結果も踏まえて、追記したものですので、大福さん以外の方々と共有していない内容が含まれています。

議事録とするのは変かもしれませんが、不要な部分は削って仕上げてください。

ただ、これを来週 27 日に TMF 宮本さんや長野先生、服部さん、辻野さんにオンライン会議で報告するペーパーとして使っていいかどうか、ご確認いただければ幸いです。

併せて、以下も 27 日のオンライン会議に盛り込んでよいかどうか、みなさんに諮っていただけますか。

- 2021 年度に向けて、添田さんのお兄様から譲り受けた車両のみにならないよう、9 月に日本財団への福祉車両の助成申請を予定している。
- 現在使用中のリース車両を 1 台所有できれば法人所有車両が3台になる(望ましい)
- マイカーボランティアも必要なので、損保ジャパンの移動支援サービス専用自動車保険の保険料を市から補助してほしい。
- それができたら、現在も使っているボランティアのマイカーをもっと増やせるのではないか。

~~~~~

特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク  
(全国移動ネット) 事務局長 伊藤みどり